

■特集

「育てる広場」をみんなで作る

3年後の
オープンに向けて

市民会館跡地エリアの整備が進行中。

まちの真ん中に
あったらうれしい「場」をみんなと一緒に。

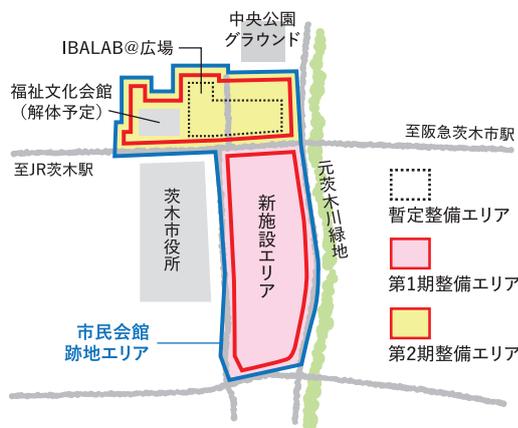
まちはみんなのものだから、みんながつかうものはみんなと一緒に。そんな思いで、元市民会館の跡地整備を考える取組みが始まって約5年。たくさんのご意見をいただくなかで、市の中心部といえる立地をいかすなら、単なる建物の建て替えという“点”ではなく、広く南グラウンドまでの「市民会館跡地エリア」という“面”で整備することになりました。

キーコンセプトは「育てる広場」。つくるときも完成後も、つかう人が育んでいく「場」に……。複合施設と広場からなる茨木の新しいランドマークになるような場をめざし、さまざまな取組みが進んでいます。



問合せ先 市民会館跡地活用推進課

TEL 65512757



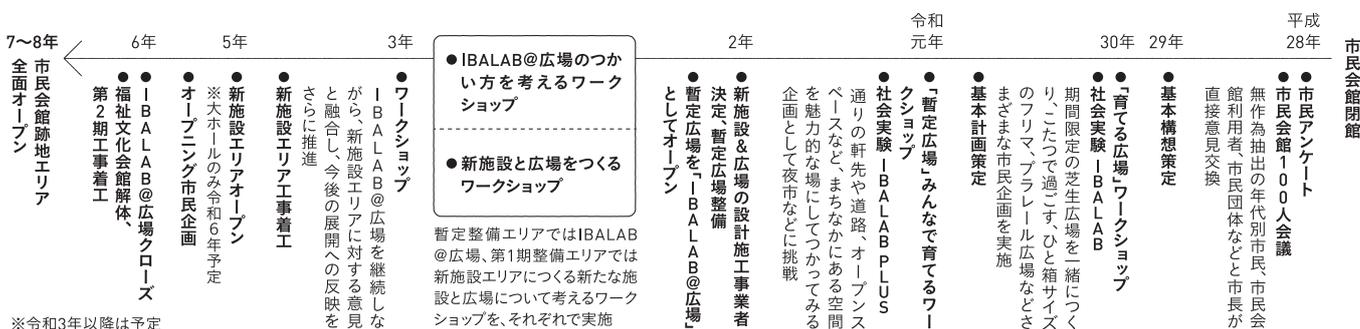
はじまりは5年前。
たくさんの方の声を
いかにしながら前進中！

【これから】

IBALAB@広場では今後も「つかう」「つくる」を繰り返しながら多様な人が「つながる」場づくりを。そして、新施設を「つかう」目線で考えるプロセスとも合わせて、完成後の展開に反映させ、エリア全体の将来構想にもつなげていく。

【これまで】

キーコンセプト「育てる広場」の具現化に向け、ワークショップや広場をつかった社会実験で、実際にやってみながら方向性やルールづくりを検討。新施設エリアについても、設計について考えるワークショップを整備事業者も参加しながら展開中。



※令和3年以降は予定



PROJECT
01

イバラボひろば
IBALAB@広場

ハーフメイドでつくっていく
みらいの心地よさ



IBALAB@広場は、芝生エリアと、横の階段を下りた下エリア、噴水広場を合わせたスペースの総称

みんながつかいたくなる
心地よい空間を期間限定で
つくり、つかってみる

元市民会館の跡地と人工台地を含んだエリアにできた「IBALAB@広場」は、福祉文化会館解体までの約3年限定の広場です。ここは「育てる広場」の取り組みをさらに進める最前線。利用者自身が実際につかいながら、ルールも含めて「つくる側」にもなって育てていく、「ハーフメイド」という考え方を取り入れた実験的な場でもあります。昨秋にはカフェもオープン。朝から晩までいろいろな人が訪れてのんびりと時間を過ごす、穏やかな風景が生まれています。

ポールで
遊べる
走りまわれる



外カフェって
気持ちいい



お弁当
食べるのに
ちょうどいい



車道沿い
なのに
落ち着く空間



通りかかる
たびに
何かやってる



駅への途中で
ちょっと休憩
できる

1	2	3	4	5
6			7	
8				

1.6.8. テイクアウト専用のカフェでフードやスイーツ、ドリンクを購入して、好きな場所で楽しむ。お弁当を持ってきて食べる。広場で集う人をみながら、ただのんびりと過ごす。一日中、いろいろな人が訪れ、思い思いに過ごしている 2.5. 下エリアには、アクティブに体を動かしたい人が、ポール遊びやスケートボードができるのもうれしい 3.4. ワークショップメンバーが「やってみるDAYS!」としてトライした焚き火や落書き。他にも参加者それぞれがやってみたかった企画を準備から運営まで2日間にわたって実践 7. 夜は季節によってライトアップも。カフェの営業日は基本的に21時まで その他 日常的につかうだけでなく、市や市民主催のイベントもたくさん。訪れるのが楽しみになる

今後もワークショップやイベントを予定

●「広場会議」を実施
広場でやりたいことがある人ならだれでもOK。参加する楽しさに今年こそトライ!

●さまざまなイベントが登場予定
春にはマルシェやミニコンサート、フリマなども

\\ イベント情報はフェイスブックで /

ワークショップ
情報



いばらぎコモンファクトリー



Ibalab@広場

IBALAB@広場はだれでも利用可能!

●休憩、食事とお茶、ひとりで、グループで……普通の公園と同じようにどうぞ

●ポール遊びやストリートスポーツなどアクティブにつかえるエリアも

●利用申請すれば、いろいろな目的のイベントや活動にも

これまでのイベント例

楽器演奏やコンサート

フードやカフェイベント

産直、ハンドメイドマルシェ

ヨガやリトミック

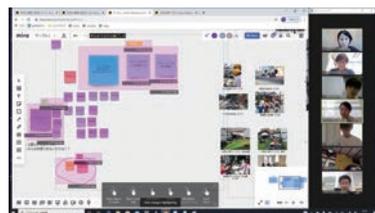
つかい方や
利用申請
など



チャレンジ&アレンジで
みんなが過ぎしやすい
ルールを考え、つくっていく

広場のつかい方やルールは、ワークショップを通じて考えています。昨年は、広場で「やってみたいこと」をもとに「できること」を検討。設定したルールを試すため実際に「やってみる」イベントも行いました。今後も実際のつかい方を踏まえてルールはバージョンアップしていきます。

この「つかう」「つくる」を繰り返しながら、みんなの広場としてさらに居心地のよい場に育て、新施設エリアへ、そして、市民会館跡地エリア全体の「場」づくりへと引き継いでいきます。



「IBALAB@広場のつかい方を考えるワークショップ」はオンラインでスタート。画面上でもいろいろな意見が

ワークショップでは「やってみたいこと」をもとに自らルールを考える。実験イベント「やってみるDAYS!」の前にはみんなが広場の下見に



ワークショップに参加して

自分が生まれたまちに
やりたいことで関わるのが楽しい

前の広場*のときから来ています。今回も行ってみたらやっぱり楽しかった。「やってみるDAYS!」では木工工作を企画しました。必要なものを集めたり、助けてくれる人を見つけたり、準備は大変だったけどできてよかったです。来てくれた友だちも楽しんでくれました。できることを考えて、実行するのはおもしろい。これからもこの広場に関わっていきたいです。



平松諒さん

自由に意見を言いながら
ゼロからつくるっておもしろい

大学の先生から聞いて興味を持ったのですが、幅広い年齢の人がいろいろなことを自由に言い合える雰囲気がよかったです。とくにホワイトボードにやりたいことを貼っていくのはわくわくしました。焚き火をしたり、スクリーンに映してゲームしたり、試してみたら意外とできる。市民の声を聞きながら一緒につくっていくとすてきなまちですね。



角間貴也さん

ママのひとこと

大人と一緒にまちづくりに関わることが楽しくて仕方ないみたいです。

*社会実験 IBALABの芝生広場(平成30年)

広場運営事業者インタビュー



いばらきコモンファクトリー店主
藤井茂男さん



広場などでの社会実験にキッチンカーで出店するようになり、市民と一緒に公共の場にぎわいをつくるという試みがおもしろいなと思っていたので、IBALAB@広場にもぜひ関わりたくまりました。カフェのオープン後、広場を利用する人は増えたのではないだろうか。この広場はとてもおおらかな雰囲気です。たまたま隣合わせた人と会話が始まるなど、来るほどに輪を広げていくような場になっていけば、まちはもっと楽しくなるはず。イベントも多いと思いますが、だから来てというよりは、日常的になんとなく行きたくなるような、押しつけない場所にしていきますね。

人の輪が広がるほど
もっと楽しい茨木になる気がする



※いばらきコモンファクトリーは、カフェ運営とともに、IBALAB@広場の管理運営業務の一部も担っている。 11～21時(土日は9～20時/天候などで変更になる場合あり)、水・木休み

まちの真ん中だからこそ
「日々何かが起こり、
誰かと出会う場」に

「育てる広場」の中心となるのが、このエリアにつくる新施設と広場です。JRと阪急両駅から近い茨木の中心地だからこそ求められる機能を集約しつつ、めざすのはだれにとっても過ごしやすい、まちなかの「サードプレイス（第3の居場所）」のような場。訪れる目的は一人ひとり違って、常にいろいろな発見や出会いがあり、人やまちとのつながりがゆるやかに広がっていくようなイメージを、立体的な公園のような空間として形にしています。

やりたいこと、できること、
過ごしたい場所……

多様な可能性を設計に反映

新施設エリアに関するワークショップでは、実際に設計・施工を行う専門家と市民が一緒になって、多種多様にふくらむアイデアをどのように設計にかかしていくかを考えています。模型や図面を使い

PROJECT 02

新施設エリア

立体的な公園のような ゆるやかにつながる新施設&広場

上下階を
「縦の道」でつなぎ
機能を融合、
訪れる人を
つなぐ

令和5(2023)年
秋ごろ
オープン予定
(ホールは翌年4月)

中条図書館と
プラネタリウム、
市民活動センター
も移転

緑の広場や
外へとつながる
テラス、
屋上広場で
何する？

自然との
ふれあいも、
遊びも、学びも、
イベントも、
自由自在

妊娠から
子育てまでの
ワンストップ
拠点

今後もワークショップやアイデア募集を予定

●新施設エリアの ワークショップを実施中!

「新施設と広場をつくるワークショップ」で、やりたいことにもとづく設計プランを検討中。これまでの経過はニュースレターでチェック可能。ワークショップの最新情報もここで。

ワークショップ
開催報告 /



●施設&広場への意見・アイデア募集、 参加企画などを今後も予定

今後もオープンに向けた企画などを予定。まちの新魅力スポットづくりに参加する楽しさを、ぜひ!

見て見て!
「こんないいな」が
詰まっている
イメージムービー*
公開中!



*イメージムービーは新施設エリアの設計・施工を行う竹中工務店・伊東豊雄建築設計事務所共同企業体が提案時に作成したもの。ここからみなさんの意見を参考に、設計を検討中。

みなさんが
自分の家や庭のように
感じられる場所になったら。



市民会館跡地活用推進課
向田明弘(左)、的場 理(右)

IBALAB@広場にいると「この広場
いいね!」という声をたくさんいた
だきます。そんな空間が、数年後には
もっと大きく広がります。これから
もみなさんに関わっていただきな
がら一緒に考え、だれもが楽しくつ
かったり、ゆっくり過ごしたりできる居場所となるよう育ててい
きたいと思っています。今後もいろいろな機会を考えています
ので、ぜひご参加ください。

ながら、付箋や写真を使ったり、書
き込んだり。それを設計の専門家
がスケッチにおこし、フロアを超え
たつかい方を考えたり。ときには
びっくりするようなユニークな発
想も。新施設エリアの無限大の可
能性は、茨木ならではの多様なつ
かい方が生まれる空間を創り出す
に違いありません。



グループに分かれて
意見交換しながら
ブラッシュアップ



ワークショップに参加して

実は茨木のまちづくりに
参加していたという不思議

憧れの設計事務所の建築に関われる
ワークショップは想像以上の楽しさでした。私はここでシェア屋台をつかったイベントをしたいのですが、みんなで出したアイデアが完成後どう展開されるのか、なんともいえない期待感があります。茨木は市民活動が盛んということも知り、いつの間にかそのなかにいたことに驚きました。今後は自分も中心となっていきたいです。



村上貴信さん

「階によって香りを変える」「『縦の道』を使った流しそめん」など、立体空間ならではの自由なアイデアが続々



設計・施工事業者インタビュー

刺激をくれるワークショップ
わくわくするような場づくりを
めざしたい

神崎 茨木は市民のみなさんがすでにワークショップや市民活動に慣れている、アイデアがどんどん出てくると感じています。

市川 「だめ」「できない」という前提がなくて、なんでもやってみようという姿勢がありますね。私たちも刺激を受けています。

神崎 確かに。設計者として、みなさんと同じ目線でこのまちの未来を考えていけるのは、とても貴重な経験です。茨木には自由を楽しむ雰囲気がありますよね。

市川 そう思います。先行するIBALAB@広場には、いつも人がたくさんいて、過ごし方も個性豊かで市民の活力があふれているようです。

神崎 新施設はIBALAB@広場が7階建てになったような、自由な空間にしたいですね。

市川 まさに立体的な公園のような、想像もできない広がり



のあるつかわれ方が始まるのではないのでしょうか。

神崎 みなさんの意見をたっぷり含んだ、茨木らしいシンボルにしていきたいです。

市川 広場に植えた樹が育つたり、ここをつかった子どもたちに次の世代がまたつかったり、まさに時間とともに育っていく場にもなればステキですね。

神崎 このまちに住むみなさんの生活が豊かになるような場になればうれしいです。

市川 私たちも今からわくわくしています。



竹中工務店
市川雅也さん

伊東豊雄
建築設計事務所
神崎夏子さん